

池間大橋開通24周年 記念イベント開催



発行者
NPO法人いけま
福祉支援センター
電話:75-2870

池間大橋が開通して24年目の2月14日、大橋開通記念日が近づき、親子ラジオでは池間大橋音頭が流れました。当日は晴天にも恵まれ、子どもからお年寄りまで約60名が一同に集まり、大人はグラウンドゴルフ、子どもは逃走中「鬼ごっこ」で体を動かし盛り上がりました。今回のイベントは、中学生が実行委員となつて準備を進めてくれました。

ゲーム後には、大鍋で炊いた手作りぜんざいがふるまわれ、世代を超えて楽しい時間が持てました。

今年のグラウンドゴルフの表彰は、大橋開通の平成4年2月14日にちなん



で、4位、2位、14位に賞品が贈呈されました。24周年にちなんだ24位には、なんと仲間淳さん愛子さんがご夫婦揃って池間漁協よりアカマチを勝ち取りました。子どもの部の優勝者は、平良恋菜さんでした。来年は4半世紀の節目、25周年は盛大なお祝いを期待する声が多く聞かれました。坂東瑠美)



ミニチャイバイ、池間幼稚園

がけ目からなくなるってよ

2015年12月25日付けの地元紙で、宮古島市教育委員会は今年4月より池間幼稚園の休園を発表しました。皆さんご存知でしたか?終戦後ずっと続いた池間幼稚園

防災センター完成間近

ジャパソニの高台海抜約12メートルに建設中の池間地区防災センターがいよいよ完成間近となりました。今月30日(水)に落成式典が行われる予定です。

一括交付金を活用し、総事業費約9300万円をかけて整備されたこの防災センターは、1階に避難室、トイレ、給湯室を設け、2階の倉庫に自家発電機、テント、飲料水や毛布などが備蓄されます。延べ床面積約260平方メートル、収容人数は350人とのことですよ。漁港側には、オカガニのイラストと早めのひなで安心をー」と描かれています。自治会長の波平三郎さんは、施設を活用した地震津波避難訓練などを開催しながら地域の防災意識向上に役立ってほしいと話しています。(輪智子)



が、子どもの数が少ないことを理由に休園するんです。ほんとにこれぐらいですかね?

教育委員会側の規則改正理由は、子どもにとって望ましい環境は、一定の集団の中で子ども同士が相互に影響しあい、一人一人の子どもが発達に浴つた必要な経験が得られることだそうです。前泊博美)

ウクレレの音色はやさしく音的

先月2月20日に行われた生き生き教室では、ミュージックセブンプレグループ Obriigado オブリガード)によるウクレレ演奏会があり、総勢13人の方が訪問してくださいました。

同グループの阿久津芳男さんはウクレレの奏でる音色を多くの人に聴いて頂き、幸せな気持ちになつてもらえたらと思ひ、施設やイベントなどに出向き活発に活動している」と話してました。この日の演奏曲は幅広く、ハワイアン、ポップス、演歌、唱歌、童謡などでした。唱歌や童謡は会場のみなさんと一緒に歌い盛り上がりました。また、フダンソも登場し、2人の女の子のフダンソはとても可愛く素敵でした。踊り終えると会場から大きな拍手が沸き起り



ました。あつという間に時間は過ぎ再会を楽しみにグループのみなさん感謝の気持ちとともに拍手でお送りしました。オブリガード」はポルトガル語であります。儀間利津子)



今月の催し

- 3月9-10日 県立高校一般入学試験
- 3月15日 池間幼小中学校卒業式
- 3月16日 県立高校合格発表
- 3月19-20日 民泊マイスター講座
- 3月30日 防災センター落成式
- 4月7日 池間小中学校入学式

放課後わんぱく日記

わんぱくな子ども達が室内でおとなしくしているわけがありません。2月、施設ナガサキヤーの庭の改造がはじまりました。庭に埋められている廃材を取り除き、大きい石をどかして穴を掘り、砂を入れましたが、失敗！猫がそこで排泄をしているではありませんか。職員、子ども達はがっかり！なので今度は3月に土を入れよう思っています。 (不地健吾)

2月3日 水節分) きゅーぬふから舎の利用

者さんと豆まきをしました。鬼なんてへつちやらだよ！という顔が一変！鬼が現れたとたん、泣き出す子どもや逃げる子どももいました。でもオジイオバアを鬼から守る為に最後は勇気を振りしぼって豆をまいていました。



19日(金) 狩俣小学校におじゃまして雪のふれあい体験をしてきました。初めて見るたくさん雪の雪山に大興奮！上から雪を降らせてみたり、雪だるまを作ってみたり、雪合戦をしたりと、とても楽しそうでした。(松本裕美)

